

広島県 公立高校の入試制度

【2024年度版】

選抜概要

広島県の公立高校入試は一次選抜の1回です。一次選抜及び連携型中高一貫教育に関する選抜の合格者が入学定員に満たない場合に二次選抜が実施されます。

一次選抜では「一般枠による選抜」と学科・コースの特色に応じて実施する「特色枠による選抜」の2通りあります。

特色枠による選抜を実施した学科・コースは、特色枠の合格者を決定した後、一般枠による選抜により合格者を決定します。

広島県の入試では受検者全員に「自己表現」が実施されることも特徴の一つです。

	出願期間	志願変更	入試日	合格発表日
一次選抜	1/24(水)~2/9(金)	2/14(水)~20(火)	2/27(火)・28(水)	3/8(金)

・出願は1校1学科・コースのみ。ただし、同一校内の普通科と普通科のコースは併願が可能。また、一部の学科では同一校・学科内で第3志望まで認めることができます。

・通学区は全県一円です。なお、広島市立高校(コースを除く)については、広島市内となります。

特色枠による選抜

特色枠による選抜を実施する学科・コースは、入学定員に対して50%以内で合格者を決定します。合格とならなかった場合は、一般枠による選抜により合格者を決定します。

各高校は一般学力検査・調査書・自己表現の配点の比重を定め、総合的に判断して合格者を決定します。

一般学力検査・調査書について、各学校・課程・学科の特色に応じて、特定の教科のみを活用することができます。また、特定の教科に傾斜配点を実施することができます。

一般枠による選抜

一般枠による選抜は、全ての学科・コースで実施されます。

●選抜方法

【併設型高等学校をのぞく】

学力検査・調査書・自己表現とし、学校独自検査(面接・作文・小論文・実技検査等)は各学校が特色に応じて実施することができる。1日目に学力検査および自己表現カード記入，2日目に自己表現及び学校独自検査(実施校のみ)を実施。

【併設型高等学校】

自校作成問題(国・数・英)・調査書・自己表現とし、学校独自検査(面接・作文・小論文・実技検査等)は各学校が特色に応じて実施することができます。時間割は各学校長が別に定めます。

- ・ 県立三次 (国英各50分・数60分，各100点)
- ・ 県立広島 (国英各50分・数60分，各100点)
- ・ 福山市立福山 (各50分，各100点)

※各学校の特色に応じて、理・社の一般学力検査を加えて実施することができます。

選抜資料

一般枠による選抜は下記の資料を総合的に判断し、合格者を決定します。

●学力検査の得点

- ・ 一般学力検査 **5教科×50点=250点満点** (併設型は自校作成3教科×100点)
各学校・課程・学科の特色に応じて、特定の教科に傾斜配点が可能。

●調査書

- ・ 評定は9教科5段階1～3年の評定とし、3学年を3倍します。
 $(9教科 \times 5) + (9教科 \times 5) + \{ (9教科 \times 5) \times 3 \} = 225点満点$
- ・ 特記事項については、選抜に資料として活用。
- ・ 3学年の1月末現在の記録で作成。

●自己表現

自己を認識する力、自分の人生を選択する力及び表現する力をみるために、自己表現カードを活用し、個人ごとの面談形式で実施。実施時間は一人当たり10分以内、配点は検査官一人当たり15点満点。実施校は2～3人の範囲内で検査官を定めます。

一般学力検査，調査書，自己表現の配点の比重は**6：2：2**とし，学校独自検査を実施した場合はその結果も加えて，総合的に判断して合格者を決定します。